

将来人口の再推計結果と 人口減少対策の方向性

令和7年度第2回 人口減少対策推進本部会議
令和8年1月28日（水）

将来人口の再推計結果

人口減少対策重点戦略で掲げた目標と現状

長期目標：2060年人口100万人を維持

2025年の本県人口は前回推計（2060年78万人）時から約1.3万人下振れ

県人口の現状

総務省「人口推計」、「国勢調査」、愛媛県推計人口（人）

	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
県人口	1,385,262	1,339,215	1,334,841	1,320,782	1,306,165	1,291,198	1,275,350	1,258,374
前回推計			1,334,841					1,271,093

短期目標 どちらの目標も達成困難 ▲12,719（前回推計比）

目標1：2026年に転出超過の解消

総務省「住民基本台帳人口移動報告」（人）

	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年（目標値）
転出超過数	▲3,869	▲4,234	▲3,175	▲2,522	▲3,397	▲4,125	▲4,444		0

目標2：2026年に出生数8,500人

厚生労働省「人口動態統計」（人）

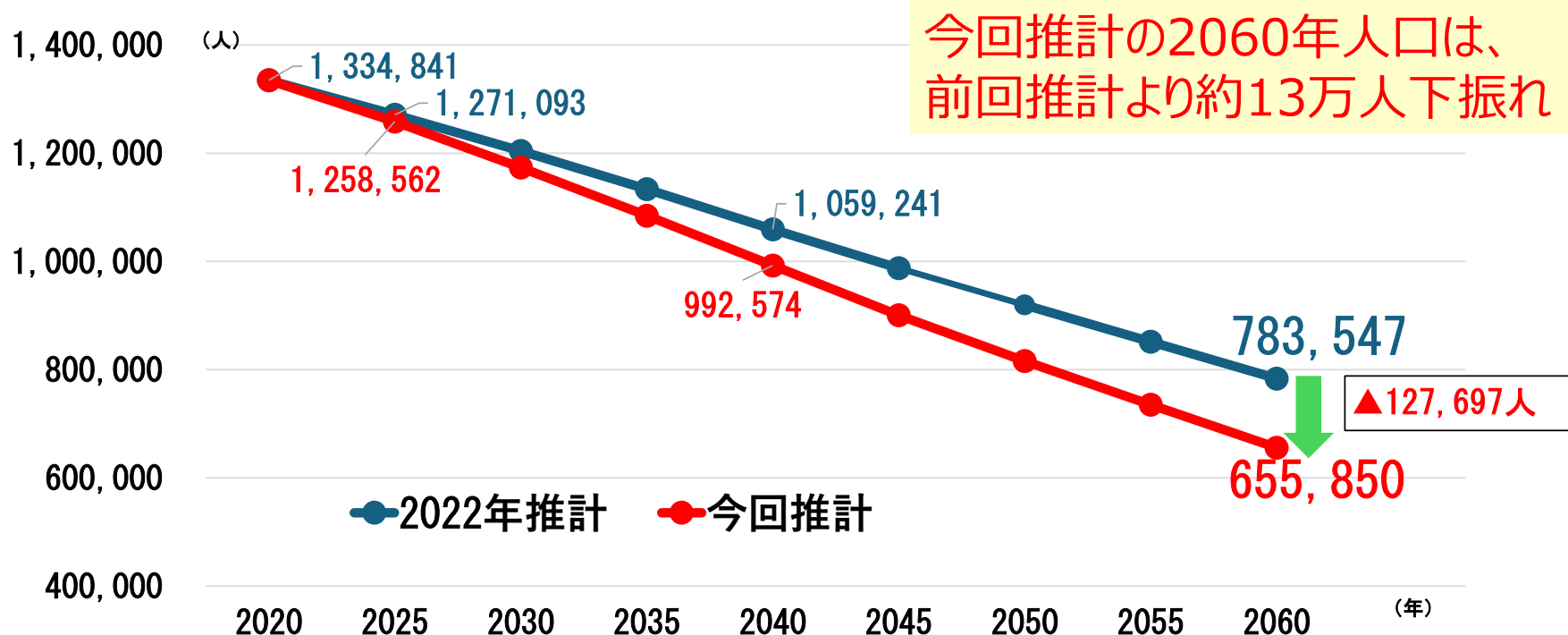
	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年（目標値）
出生数	10,146	8,446	8,102	8,011	7,572	6,950	6,557		8,500

（参考）合計特殊出生率

厚生労働省「人口動態統計」

	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
愛媛県	1.53	1.46	1.40	1.40	1.39	1.31	1.28
全国	1.45	1.36	1.33	1.30	1.26	1.20	1.15

今回推計と2022年推計の比較



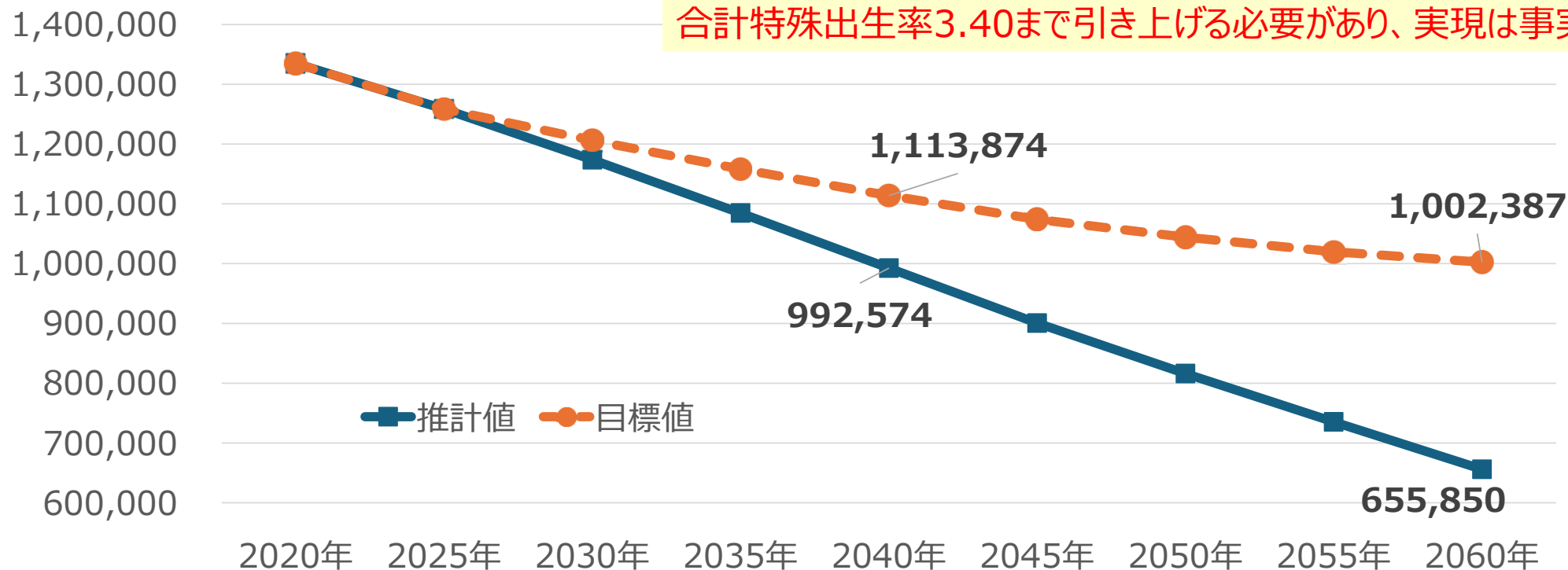
パラメータ推計値
(いずれも日本人ベース)

出生数、転出超過：単位（人）

年	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
出生数 (出生率)	6,557 (2024年) (1.28)	5,590 (1.28)	4,799 (1.28)	4,138 (1.28)	3,605 (1.28)	3,161 (1.28)	2,586 (1.28)	2,132 (1.28)
転出超過	▲4,444 (2024年)	▲4,359	▲4,325	▲3,915	▲3,283	▲2,633	▲2,199	▲1,913

今回推計と2060年100万人維持シナリオの比較

人口推移（推計値・目標値）



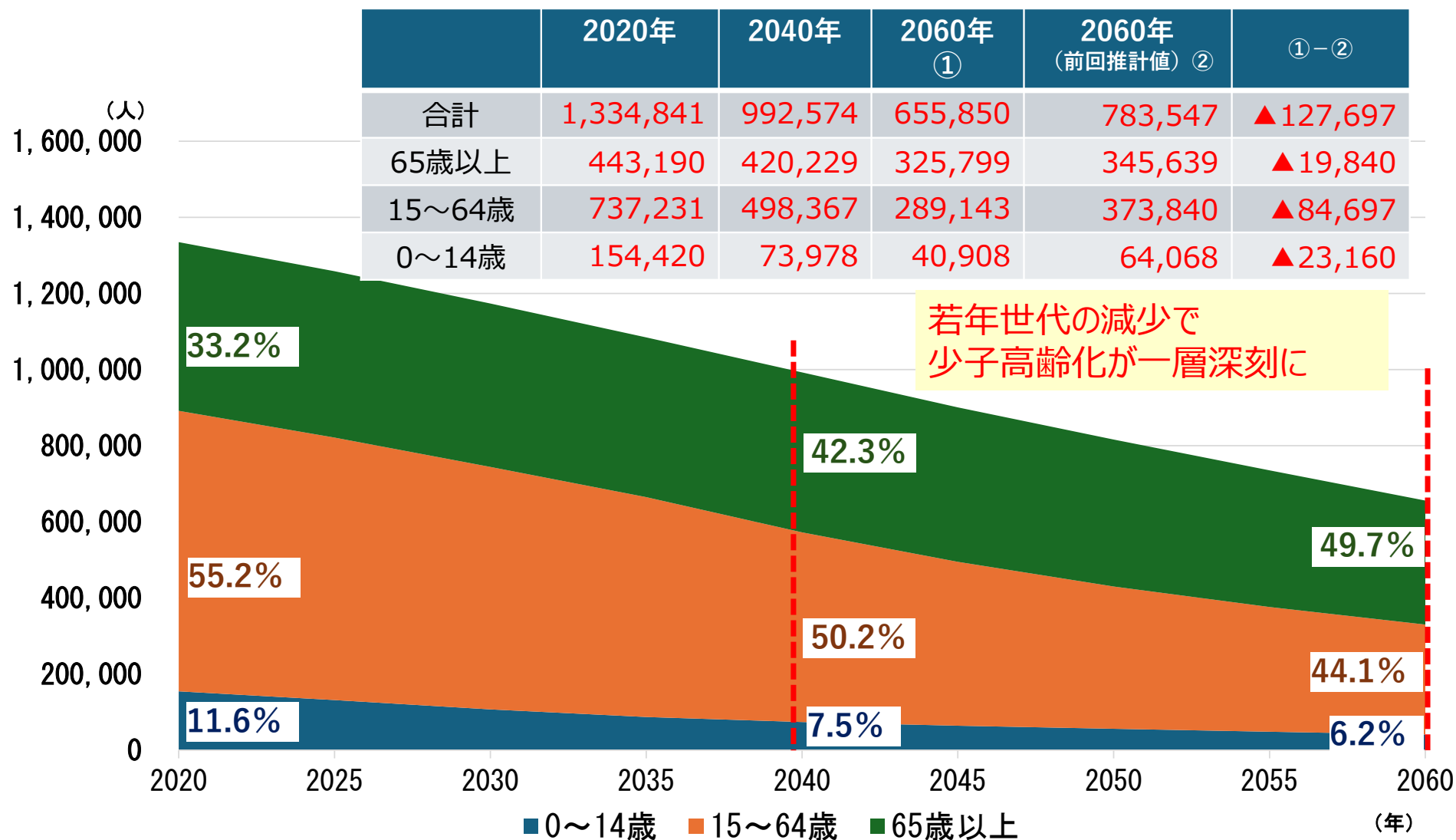
想定 目標値（いずれも日本人ベース）

出生数、転出超過：単位（人）

年	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
出生数 (出生率)	6,557 (2024年) (1.28)	7,710 (1.60)	8,819 (1.90)	9,894 (2.20)	10,894 (2.50)	11,587 (2.80)	11,717 (3.10)	12,616 (3.40)
転出超過	▲4,444 (2024年)	0	0	0	0	0	0	0

年齢3区分（年少、生産年齢、高齢者）別人口

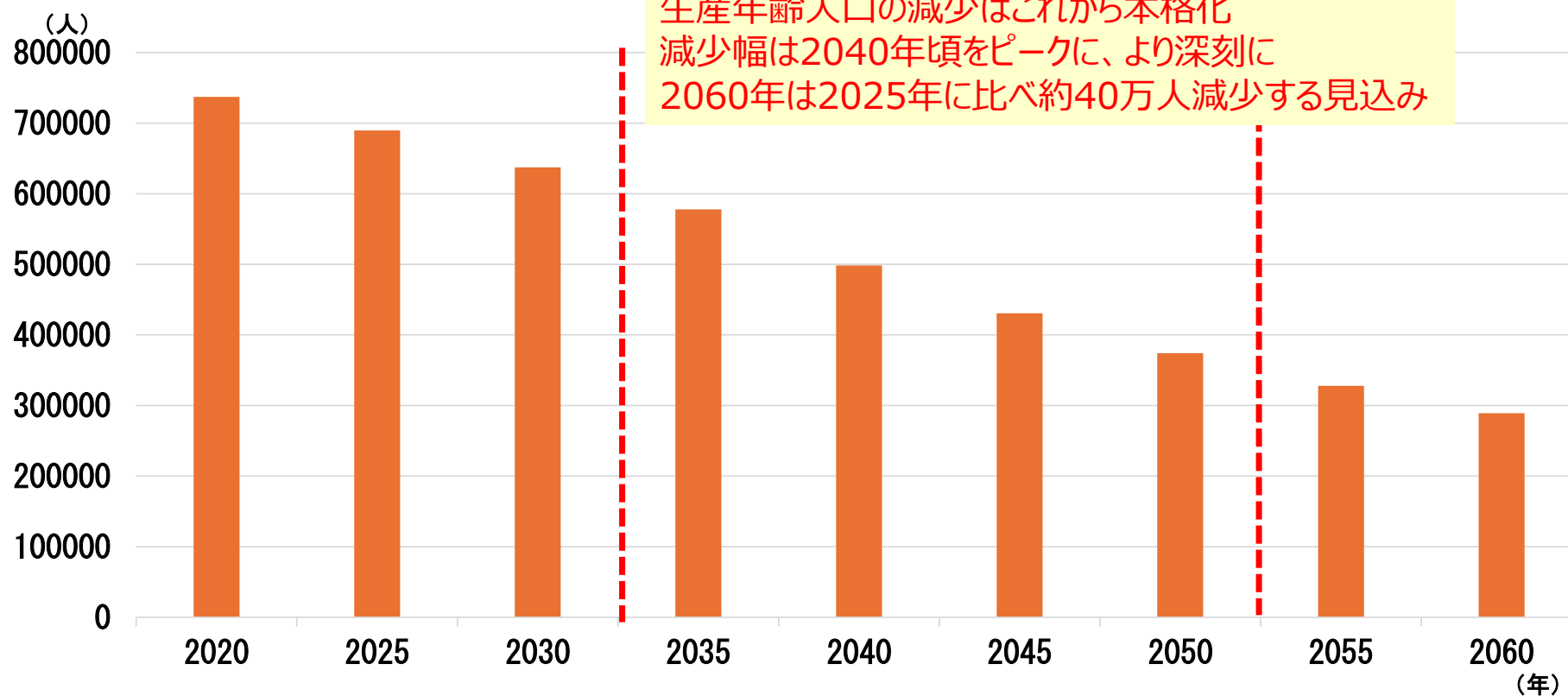
単位（人）



生産年齢人口の推移

単位 (人)

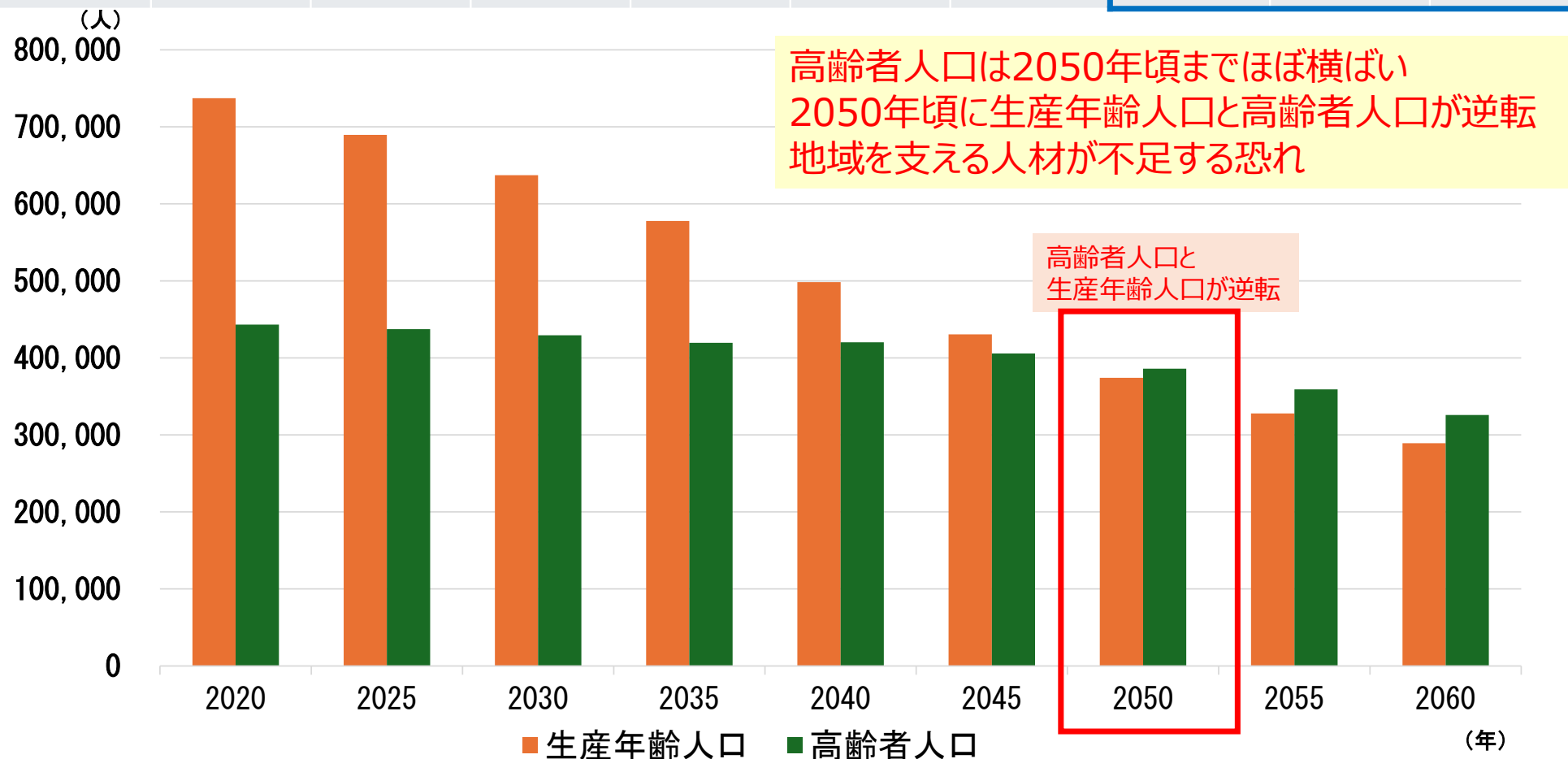
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
	737,231	689,506	637,243	577,736	498,367	430,601	374,118	327,892	289,143
減少数		▲47,725	▲52,263	▲59,507	▲79,369	▲67,766	▲56,483	▲46,226	▲38,749



生産年齢人口と高齢者人口の推移

単位 (人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
高齢者人口	443,190	437,344	429,383	419,616	420,229	405,790	385,872	359,054	325,799
生産年齢人口	737,231	689,506	637,243	577,736	498,367	430,601	374,118	327,892	289,143



人口減少対策の方向性

推計結果の分析と新たな目標

【推計結果の分析】

今回の推計が前回を下回った要因

アフターコロナの人口動態が期待した方向に進まなかったこと

- 社会動態 コロナ禍で抑制されていた東京一極集中がコロナ後に再拡大
- 自然動態 全国的な出生数減少が予想をはるかに超えるスピードで進行

再推計を踏まえた今後の人口減少対策の新たな着眼点

生産年齢人口比 が重要

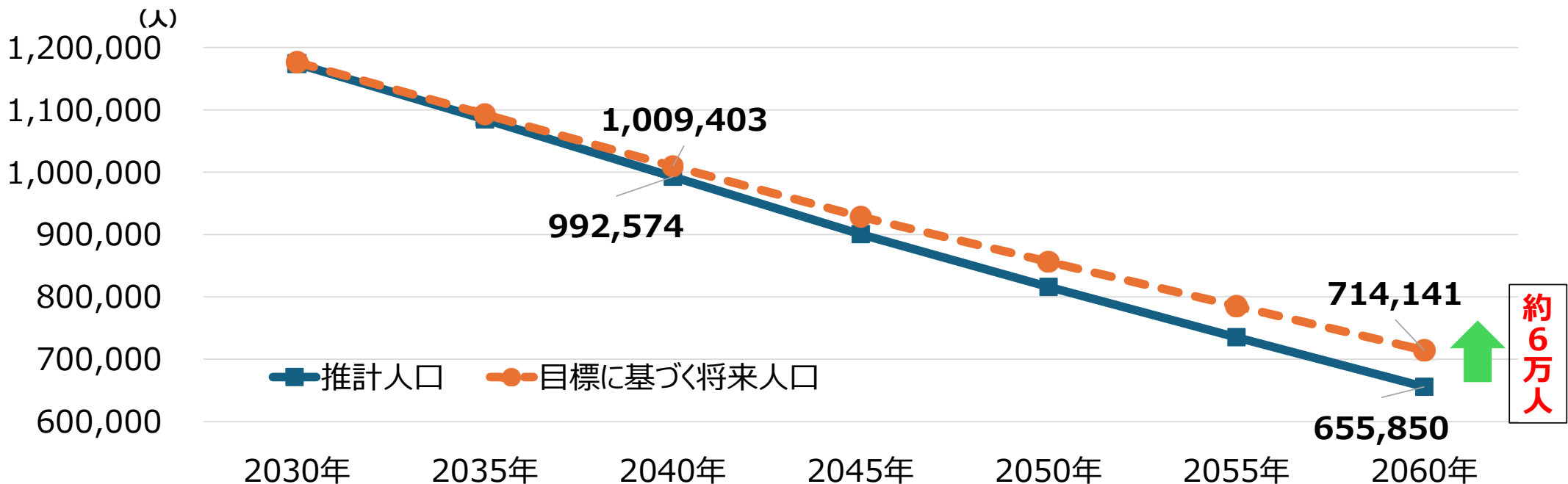
【新たな目標】

県民の暮らしの安定と産業の活力を維持するため

「生産年齢人口＞高齢者人口」を将来にわたって維持することを前提に、

- 若者の転出超過を段階的に半減**
- 合計特殊出生率をできる限り希望出生率（1.50）に近づけることを目指す**

<参考>新たな目標に基づく将来推計人口（2030年以降）



新たな目標に基づくパラメーター（単位：人）

年	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
生産年齢人口	689,506	639,089	583,035	509,028	448,258	400,129	361,904	331,241
高齢者人口	437,344	429,383	419,616	420,229	405,790	385,872	359,054	325,799
（生産－高齢）	252,162	209,706	163,419	88,799	42,468	14,257	2,850	5,442
転出超過:日本人 （削減割合）	▲4,444（2024年）	▲3,990 （1割）	▲3,632 （2割）	▲2,838 （3割）	▲2,009 （4割）	▲1,354 （5割）	▲1,270 （5割）	▲1,228 （5割）
出生数:日本人 （合計特殊出生率）	6,557（2024年） （1.28）	5,725 （1.30）	5,205 （1.35）	4,829 （1.40）	4,568 （1.45）	4,308 （1.50）	3,661 （1.50）	3,139 （1.50）

新たな目標を目指すための今後の人口減少対策の方向性

若者の転出超過の半減・出生率の向上

若者を選ばれる3つの愛媛づくり（人口減少スピードの緩和）

若者の定着・増加

働きたくなる『えひめ』

✓新たな働く場の創出と
人材育成と雇用のマッチング強化 等

婚姻件数の増加

結婚の希望が叶う『えひめ』

✓若者の希望するライフスタイルを
応援する機運醸成 等

世帯の子ども数の増加

子育てしやすい『えひめ』

✓子ども・子育て応援機運醸成、
産前・産後ケアの充実 等

暮らしの安定と活力の創出

将来に希望を持ち続けられる3つの愛媛づくり（人口減少社会への積極的適応）

生活インフラの維持

将来にわたって 安心して暮らせる『えひめ』

✓医療、福祉、教育など
様々な分野における人材の確保 等

生産性と稼ぐ力の向上 （地域経済の活性化）

産業の伸びしろを生かし 「質」で稼ぐ『えひめ』

✓生産年齢人口の急減に対応した
生産性向上、デジタル実装支援 等

県外活力の誘引

若者が夢を 描き続けられる『えひめ』

✓観光やスポーツ、文化、食の魅力など
多様な資源の活用 等